

(別添2)

## 事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 保育所  
事業所名（施設名）箕輪町立長田保育園

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。  
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態  
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態  
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 保育内容	(1) 全体的な計画の作成	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。</li> <li>■ 2 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。</li> <li>■ 3 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。</li> <li>■ 4 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。</li> <li>□ 5 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。</li> </ul>	<p>○保育理念、保育方針、保育目標に基づき、子どもの発達過程に応じた保育の内容や年度の重点活動が定められ、地域の実態に対応した事業や行事などを考慮して全体的な計画が作成されています。</p> <p>○全体的な計画は、保育に関わる職員が参画し、定期的な振り返りを行った上で見直して評価を行い、次の編成に反映したり全職員への周知共有を図ったりするようにお願いします。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。</li> <li>■ 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。</li> <li>■ 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。</li> <li>■ 9 内装等には、木材を利用している。</li> <li>■ 10 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。</li> <li>■ 11 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。</li> <li>□ 12 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。</li> </ul>	<p>○入所人数の基準よりも広い空間で、広い廊下には絵本コーナーが用意されているなど、子どもたちが、ゆったりとくつろいだり落ち着ける空間のゆとりが感じられます。</p> <p>○部屋数にもゆとりがあり、食事や睡眠のための心地よい空間が確保され、室内外が安全に快適に過ごせる状態に整備・保持されていました。</p> <p>○暖房設備の機能が不十分な部屋では、壁紙を貼るなどの工夫をしていました。施設の改善についての取組がされることを期待します。</p> <p>○発達に合わせて子どもの興味や関心に応じた遊具等が用意され、静と動の遊びの環境を設定するなどの創意工夫がみられました。</p> <p>○手洗い場・トイレは、明るく清潔で安全であるよう意識した配慮がされていました。</p> <p>○増築された部屋の0・1歳児室にトイレが無いので、利用しやすい設備が整えられることを期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。</li> <li>■ 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。</li> <li>■ 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。</li> <li>■ 16 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。</li> <li>■ 17 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。</li> <li>■ 18 せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。</li> </ul>	<p>○個々の家庭環境や生活リズム、発達状況を把握し、担任を中心に加配保育士や補助の保育士がチームとして子どもと関わって、子どもの気持ちに沿ったクラス保育がされています。また、他クラスの職員同士が連携し、保育環境を共有するなどして、日常的にも異年齢交流が行われています。</p> <p>○子どもが安心して自分の気持ちや考えを伝えられるよう保育士が受容し、穏やかにゆったりと個別に応答するなど、子どもの気持ちに沿った言葉がけやスキンシップを意識した行いに心がけている様子が見られ感じられました。</p>
			③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 19 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。</li> <li>■ 20 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。</li> <li>■ 21 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。</li> <li>■ 22 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。</li> <li>■ 23 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。</li> </ul>	<p>○発達に応じた生活習慣を身につけるための指導計画が作成され、保育士自身がその大切さを理解して援助をしています。</p> <p>○自分でやろうとする気持ちを大切にしてい、できたという達成感を味わえるようにしています。保護者と連携をとりながら子どもの発達の個人差に応じ、一人ひとりに合わせた基本的な生活習慣の習得ができる支援の工夫をしています。</p> <p>○遊びや食事、休息等、子どもの生活リズムに沿って一日の流れが設定されています。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 24 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。</li> <li>■ 25 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。</li> <li>■ 26 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。</li> <li>■ 27 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。</li> <li>■ 28 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。</li> <li>■ 29 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。</li> <li>■ 30 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。</li> <li>■ 31 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。</li> <li>■ 32 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。</li> <li>■ 33 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。</li> </ul>	<p>○年齢や発達に応じて子どもの興味関心に沿った玩具や遊びの場を用意し、環境構成して支援するなど、子どもが主体的に取り組める保育の工夫が見られます。</p> <p>○保育士が子どもと共に活動し、子どもの様子に合わせて応答的に関わり、自発性を発揮できるように援助していました。</p> <p>○戸外活動や運動遊びなど、年齢や体力を考慮した年間の活動計画が実施されています。3歳以上児は外部講師による定期的な運動あそびやリズム、サッカー教室を取り入れています。</p> <p>○四季を通じて自然豊かな近隣の『ながた自然公園』へ散歩に出かけて、様々な自然体験やアスレチックで、挑戦・発見・感動を味わい、のびのびと遊ぶことができます。熊への対策として、個々に鈴の付いた帽子を被るなどの配慮をしています。</p> <p>○地域行事の町民・区民文化祭への参加と出品を行っています。『みのわテラス』等に散歩に出かけて地域の方とふれあう機会があります。地域の方が定期的に絵本の読み聞かせ等のボランティアに来てくださっています。</p> <p>○子どもの発想や意欲を大切に様々な表現活動ができるように環境を用意して援助し、保育士もその思いに共感して具現化する保育を行っていました。今後も自発的なあそびの継続的な発展についての取組に期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 34 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。</li> <li>■ 35 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係（情緒の安定）が持てるよう配慮している。</li> <li>■ 36 子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。</li> <li>■ 37 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。</li> <li>■ 38 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。</li> <li>■ 39 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。</li> </ul>	<p>○年間指導計画に基づいて個別計画を作成し、担当保育士間で連携をとって、安心して過ごせるような生活と遊びの場や環境を用意し、愛着関係が持てるような個別の関わりに配慮されています。</p> <p>○発達過程や個人差に応じた遊びや玩具を提供することに配慮し取り組んでいます。今後も発達状況に合わせた、より豊かな保育環境の取組に期待しています。</p> <p>○必要に応じ保護者と面談の機会を作ったり、個別の連絡帳を通して日々の園での様子を伝えたりして、家庭の様子を把握しながら連携を密にしています。</p>
			⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 40 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。</li> <li>■ 41 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。</li> <li>■ 42 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。</li> <li>■ 43 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。</li> <li>■ 44 保育士等が、友だちとの関わりの中を仲立ちをしている。</li> <li>■ 45 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。</li> <li>■ 46 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。</li> </ul>	<p>○全体的な計画に基づいた指導計画や個別計画に応じ、養護と教育が一体となった保育に向けて、事故防止や安全対策に配慮した生活と遊びの環境設定に配慮し、取り組まれています。</p> <p>○少人数の集団ならではのゆったりした環境の中で、一人ひとりの子どもの様子に寄り添った保育の関わりに心掛けて取り組んでいる様子が伺えました。</p> <p>○個別の連絡帳や送迎時の会話等でのやりとりを丁寧に行うことで保護者と連携をとりながら保育に取り組んでいます。</p> <p>○未満児クラスの保育士同士で連携をとりあい安全に配慮した保育環境設定を行って、交流や合同保育の取組がされています。3歳以上児とも、日常的に自然な関わり場面が作りやすい状況があり、異年齢交流保育に取り組まれています。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 47 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 48 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 49 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 50 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。</li> </ul>	<p>○年齢や発達に応じた子どもたちの好きなあそびを大事に取り上げ、保育活動に取り入れています。</p> <p>○少人数クラスの良さとして、日々の様子に応じて個々に寄り添った保育がしやすい状況があります。目が行き届くので、あえて見守り、子どもに任せる保育を心掛けています。集団としては機会をとらえて問題提起をして、子どもたちと一緒に考えあう場面を大事にするなど保育士が適切に関わっている事が伺えました。</p> <p>○小学校が遠いので交流の機会が少ない状況があります。就学に向け、きめ細かい連携と引き継ぎへの取組を期待します。</p>
			⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 51 建物・設備など、障がいに応じた環境整備に配慮している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 52 障がいのある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 53 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 54 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 55 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 56 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 57 職員は、障がいのある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 58 保育所の保護者に、障がいのある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。</li> </ul>	<p>○園庭から室内への段差があることやテラスや靴箱が雪や雨で濡れやすいなどの不便さがあり対応に苦慮されている様子があります。</p> <p>○集団活動に興味を持っていない子については加配保育士が個別に対応し、状況に応じ無理なく参加に気持ちが向けられるような支援を行っています。個別計画を作成し、記録をとり見直しながら成長につなげる保育に取り組まれています。具体的な支援について専門機関と連絡ノート等で連携をとり情報を共有し、苦手なことも少しずつステップアップできるような支援に取り組まれています。</p> <p>○障がいのある子どもの保護者の思いを受け止めながら、子どもの状況や望む姿の共通理解に向け、口頭でのやり取りを中心に丁寧な情報を共有しながら保育に取り組んでいます。専門家の巡回訪問により、園児の理解や保育の実状に応じた適切な対応についての指導も行われています。担当職員は専門家からの助言を活かした環境の設定や保育対応に取り組まれています。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 59 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。</li> <li>■ 60 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。</li> <li>■ 61 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。</li> <li>■ 62 年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。</li> <li>■ 63 子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。</li> <li>■ 64 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。</li> <li>■ 65 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。</li> </ul>	<p>○年齢に応じた園での生活の流れが計画的に行われています。</p> <p>○長時間保育を利用する子ども達のための部屋が用意されています。</p> <p>○3歳以上児では、縦割り保育の日を計画して異年齢で活動し、子どもたちの様子を保育士間で話し合っ把握して、子ども同士の関わりの機会を広げられるようにしています。</p> <p>○必要に応じて担当の保育士が保護者との面談の機会を作り、情報共有を図るなど、家庭との連携について配慮しています。</p>
			⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 66 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。</li> <li>■ 67 子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。</li> <li>■ 68 保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。</li> <li>□ 69 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。</li> <li>■ 70 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。</li> </ul>	<p>○小学校が遠方にあるため、年長児が秋にバスで小学校に行き、就学への期待が高められるような行事があり、小学生との交流の機会が設けられています。</p> <p>○保小連絡会を中心に小学校と連携をとっています。スムーズな就学に向けて、更に密な連携をとり、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム等の、より専門的で具体的な計画を活用して情報を共有して取り組まれることを期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(3) 健康管理	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="898 197 1599 272">■ 71 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。</li> <li data-bbox="898 296 1599 352">■ 72 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。</li> <li data-bbox="898 397 1599 432">■ 73 子どもの保健に関する計画を作成している。</li> <li data-bbox="898 504 1599 560">■ 74 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。</li> <li data-bbox="898 604 1599 660">■ 75 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。</li> <li data-bbox="898 705 1599 761">■ 76 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。</li> <li data-bbox="898 805 1599 861">□ 77 職員に乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。</li> <li data-bbox="898 906 1599 962">□ 78 保護者に対し、乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する必要な情報提供をしている。</li> </ul>	<p data-bbox="1599 197 2045 272">○園児の健康管理の内容や取組については「入園のしおり」や個別の連絡帳で適宜保護者に伝えられています。</p> <p data-bbox="1599 296 2045 371">○特に未満児の午睡中は、保育士が近くで様子を見守り、定期的に状況を確認・記録して対応しています。</p> <p data-bbox="1599 397 2045 504">○毎日の視診に重点を置き、個々の体調の変化を見逃さない様にして必要に応じ保護者と連絡を取って適切な対応をしています。</p> <p data-bbox="1599 529 2045 735">○園児の健康と安全の確保は、保育の基盤です。一人ひとりの健康状態や発達・発育状態を専門的に把握し、個々に応じた心身の健康保持のための取り組みを確認したり環境や対応等を見直したりして実践を継続されることを期待します。また、職員研修を行い、職員の知識や認識を高めるための取組を期待します。</p> <p data-bbox="1599 761 2045 836">○保護者に対して乳幼児の発達の特徴に応じた健康に関わる必要な情報提供についての取組に期待します。</p>



評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a)	<p>■ 79 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。</p> <p>■ 80 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。</p> <p>■ 81 家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。</p>	<p>○健康診断及び歯科健診は年間計画に基づき実施され、結果は記録されて関係者に周知されています。</p> <p>○診断や健診の結果は保護者に伝えられ、家庭での生活についての啓発や日々の保育の取組に活かされています。</p>
			③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b)	<p>■ 82 アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。</p> <p>■ 83 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。</p> <p>■ 84 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。</p> <p>■ 85 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。</p> <p>□ 86 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。</p> <p>□ 87 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。</p>	<p>○アレルギー疾患や慢性疾患のある園児については、ガイドラインに基づいたマニュアル等により、園長・給食担当との面談・聞き取りをして、医師からの指示書に従って保護者と献立表のやりとり等で確認し、誤食等が無いように連携を密にして除去食が提供されています。</p> <p>○食事の提供については、該当児用のトレイで区別し、給食員と保育士間で連携した対応がされています。日々の対応については、様々な職員が関わる中での誤食を防ぐために、毎日の朝会で除去食の確認の徹底がされています。</p> <p>○今後も安全で適切な対応が継続されるよう職員の意識や専門性を高めるために、定期的な研修についての取組を期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(4) 食事	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 88 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。</li> <li>■ 89 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。</li> <li>■ 90 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。</li> <li>■ 91 食器の材質や形などに配慮している。</li> <li>■ 92 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。</li> <li>■ 93 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。</li> <li>■ 94 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。</li> <li>■ 95 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。</li> </ul>	<p>○年齢や発達、個人差に応じて子どもたちが落ち着いて食事を楽しむための配慮や援助の取組がされています。</p> <p>○プランターでの野菜作りを通した収穫体験から食育に繋がっています。</p> <p>○3歳以上児クラスでは、配膳の際に子どもたちが配膳量を自己判断して加減する取組もされていました。また、苦手な食材も無理のない範囲で少しずつ食べられるように家庭と連携をとり支援を工夫されています。</p> <p>○園児の希望献立を取り入れて、食事への関心が高められるようにしています。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			② 子どもがおいしく安心して食 べることのできる食事を提供 している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 96 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。</li> <li>■ 97 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。</li> <li>■ 98 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したものとしている。</li> <li>□ 99 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。</li> <li>■ 100 季節感のある献立となるよう配慮している。</li> <li>■ 101 地域の食文化や行事食などを取り入れている。</li> <li>■ 102 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。</li> <li>■ 103 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。</li> </ul>	<p>○町の衛生管理マニュアルにより、地域食材を利用して、季節感があり地域の食文化や行事食などを取り入れた献立メニューを実施し、子ども一人ひとりの発達状況や体調等の個人差を考慮して食事が提供されています。</p> <p>○毎日の献立は、食育ボードが用意され掲示されています。検食簿等により状況に応じた改善について、給食室と保育室との連携が更に図られることを期待します。</p> <p>○調理員や園長が、子どもの喫食状況を実際に見て把握する機会を設けています。</p> <p>○町から家庭に向けて『きゅうしょくだより』が発行され、給食レシピの紹介や幼児期の食事についての情報提供や食育への啓発の取組がなされています。</p>
	2 子 育 て 支 援	(1) 家庭との 緊密な連 携	① 子どもの生活を充実させるた めに、家庭との連携を行って いる。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 104 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。</li> <li>■ 105 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。</li> <li>■ 106 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。</li> <li>■ 107 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。</li> </ul>	<p>○「入園のしおり」や園だよりクラスだよりにより、保育の意図や内容を保護者に伝えていきます。日常的には連絡帳や送迎時にコミュニケーションをとり情報交換を行っています。</p> <p>○行事や保育参観、個別懇談等により、保護者の理解を得る機会を設け、子どもの成長を共有できるよう支援しています。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(2) 保護者等の支援	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 108 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。</li> <li>■ 109 保護者等からの相談に応じる体制がある。</li> <li>■ 110 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。</li> <li>■ 111 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。</li> <li>■ 112 相談内容を適切に記録している。</li> <li>■ 113 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。</li> </ul>	<p>○長時間保育利用児が少ないこともあり、クラス担任が保護者と直接のコミュニケーションを取りやすい状況があります。日々の子どもの状況については連絡帳でのやりとりや必要に応じて個別面談の機会を設けて保護者との意思疎通に配慮しています。</p> <p>○苦情対応については情報を共有しあい保護者の思いを受け止め、スピーディーな対応を心掛けています。</p>
			② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 114 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。</li> <li>■ 115 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。</li> <li>■ 116 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。</li> <li>■ 117 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。</li> <li>■ 118 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。</li> <li>□ 119 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。</li> <li>□ 120 マニュアルにもとづく職員研修を実施している。</li> </ul>	<p>○職員は毎日の送迎時の様子や視診から、虐待等権利侵害を受けている子どもの兆候を見逃さない様に、子どもの心身の状態・家庭での養育状況の把握に努め、虐待等の早期発見・早期対応・予防等の取組をしています。</p> <p>○虐待等権利侵害の可能性がある場合は、関係職員と関係機関とが連携をとり、情報を共有して対応する体制がとれています。</p> <p>○更に全職員の意識を高めるために、虐待等権利侵害についての研修を整備して継続し、予防に努めていただくことを期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
	3 保育の質の向上	(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 121 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り（自己評価）を行っている。</li> <li>■ 122 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。</li> <li>■ 123 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。</li> <li>□ 124 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。</li> <li>■ 125 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。</li> <li>□ 126 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。</li> </ul>	<p>○保育士一人ひとり、日々の保育実践を振り返り、自己評価や反省を記録しています。保育の内容や環境、保育士の関わり等の振り返りと評価反省などを職員会議や園内研修等で定期的・体系的に行い、職員間で共有することで、年度途中であっても指導計画を見直し、改善をして、園全体で子どもの育ちに沿った保育を学び合い、より良い実践が積み重ねられることを期待しています。</p> <p>○自己評価や指導案の評価・反省を活かし、保育の質や職員の専門性の向上に向けた組織的な取組が更に充実することを期待します。</p>